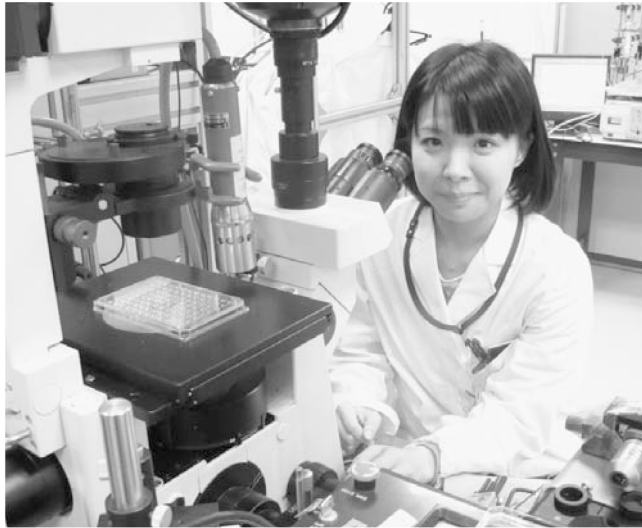


飛び立て！
若手社員

創晶（大阪府吹田市、安達宏昭社長、06・6877・5659）は、たんばく質や有機低分子



社内や顧客への支援は大きな喜び……と元山さん

創 晶

元山 朋子さん

結晶化チーム研究員

の結晶化を手がけている しさがある。大阪大学発ベンチャー（VB）。結晶化チーム 元山さんを技術部長の工に所属する元山朋子研究員（34）は、まさに創晶の心臓部を担う存在だ。2005年入社の前は、大阪大学でDNA解析の研究補佐員を務め、「実験の面白さに目覚めた」と振り返る。たんばく質の結晶化条件でのスクリーニングなどに伴うピペット操作の熟練度は社内随一。「微量を正確にとる技術が求められる」と力を込めるように、結晶化は解析のみを要求される場合や結晶だけを出してほしい場合、量産化など注文内容は多種多様だ。ただ顧客は機密情報でもあるたんばく質のサンプル情報は出したがらないケースが多い。濃度や保存時の安定性など、限られたデータの中で結晶化につなげなければならぬ

「100%結晶化」へ技術に磨き

一方、「彼女が持つ職人のスキルは会社の財産。それを社内でも共有化する取り組みを意識してほしい」と注文する。岡田詩乃チームリーダーも「自分で計画を立てて、実験するまでの流れを確立できれば独り立ちできる」とみる。元山さんは「社内や顧客への支援は大きな喜びがある。結晶に関する技術面はすべて向上させた」と意気込む。現在、結晶析出の割合は約80%。チームの究極の目標は「100%の結晶化」だ。「笑顔を絶やさずにかんばりたい」とはにかむ元山さん。その手先の器用さが新進気鋭のVB、創晶を支えている。

（林武志）